

## \* \* 児童生徒の学習の様子 \* \*



後援会からの助成により、様々な授業や行事等の学習活動に取り組むことができました。

### やしお祭



10月19日(土)に、やしお祭が行われました。「輪になろう～笑顔の花を咲かせて～」をテーマに、児童生徒は日々の学習の中で頑張っていることや挑戦していることを発表しました。保護者、地域の皆様をはじめ、多くの方々にお越しいただき、ステージ発表やイベント活動も大いに盛り上がりました。児童生徒一人一人が輝く、笑顔あふれるやしお祭となりました。



### ICT 機器活用授業



本校では、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、タブレット端末を使用した授業を行っています。数や時計の学習等で使用し、時計の針をぐるぐる回して、自由に調整できたり、答え合わせの際、キャラクターが答えをしゃべったり、文字が動いたりするので、児童生徒は楽しみながら、学習に取り組む姿が見られています。後援会からは、タブレット端末のカバーとシートの購入の助成をいただきました。



### 中学部作業学習



中学部では、製品を作る際に使用する道具や材料などを後援会の補助で購入させていただいています。生徒たちは、これから働くために必要な力を付けるため、日々作業学習に取り組んでいます。挨拶、身だしなみ、協力すること、集中することなど、これからの生活に必要なことを意識しながら、学習を進めています。



# 芸術鑑賞教室(小・中学部)



11月7日(木)文化芸術による子どもの育成事業(芸術家の派遣事業)として「楽団ペとらのおもしろ楽器コンサート」が、本校体育館で開催されました。バグパイプやパーカッションなどブラジルやアフリカなどの打楽器などを使用した演奏を聴く他に、今回の楽団ペとらは、体験コーナーに力を入れてくれました。お話しや珍しい楽器の数々の音に魅せられて時間が短く感じられるくらい楽しい時間となりました。

## セレクト給食



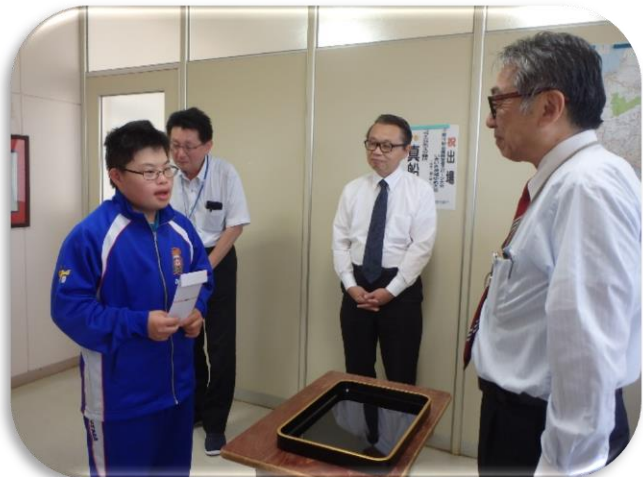
セレクト給食は、食事の構成や栄養バランス等の食育に関する学習や会食による児童生徒間の交流をねらいとして実施しました。主菜(フライドチキンまたはタラのトマトソースがけ)とデザート(チョコレートケーキまたはイチゴプリン)を事前に楽しみに選択していたので、児童生徒は友だちが選んだメニューは何かと話題にしながら食事を楽しみました。当日は、学習グループや学年が集まるなど、普段とは違う雰囲気の中で給食を味わいました。



## 第19回全国障害者スポーツ大会 「いきいき茨城ゆめ大会」 後援会より激励金授与式



## 西郷村文化センター学校紹介コーナー設置



## ～福島県特別支援学校スポーツ大会～

10月5日 あづま総合運動公園

本校高等部生徒43名参加

### 本校高等部生徒の成績

〈陸上競技〉

4×100mリレー

第2位 齋藤安紋、村岡愛、宇川智樹、齋藤博和  
ジャベリックスロー

第2位 齋藤博和、村岡愛

第3位 笠間仁美

100m走

第1位 村岡愛、齋藤安紋

第3位 宇川智樹

800m走

第3位 宇川智樹

1500m走

第1位 佐藤宥輝

第2位 西牧大輝

〈フライングディスク競技〉

ディスタンス

第1位 赤澤恵理華

アキュラシー5m

第1位 真船健、渡辺 聖弥

第2位 赤澤花梨

第3位 小竹永遠

〈ボッチャ競技〉

個人戦

第3位 深谷翔、小澤耕心

団体戦

第2位 西郷支援Aチーム

第3位 西郷支援Bチーム

〈サッカー競技〉

第3位 西郷支援学校

〈福島県特別支援学校体育連盟生徒表彰〉

優秀選手賞 村岡愛



## 第18回福島県知的障がい者技能競技会

～ふくしまアビリンピック2019～



11月9日 福島市ポリテクセンター

本校4名の生徒が参加

### 本校高等部生徒の成績

〈喫茶サービス部門 金賞〉

高等部3年生 塩田智也

〈縫製部門 銀賞〉

高等部3年生 笠間彩音

〈ビルクリーニング部門 銀賞〉

高等部3年生 齋藤博和



## 高等部産業現場等における実習

高等部産業現場等における実習は、企業・事業所のご協力のもとに前期（6月）と後期（11月）の2回に分けて行っています。普段の作業学習等で身につけた働く力や態度、習慣をより確実に発展させ、社会に出て働くことに興味をもったり、進路を決定するために職場の雰囲気を体験したりする目的があります。



**お願い** 後援会では、年間を通して会員の募集を行っています。本校の教育活動に是非ご支援・ご協力をお願いいたします。詳しい内容は、本校後援会事務局までお問い合わせください。

# 後援会だより

第42号

発行：令和2年3月6日

## 「後援会長あいさつ」

会長 黒澤 俊



早春の候、「令和」となって初めての新年を迎えたこの冬は、暖冬とは言われておりましたが、肌で感じる寒さは厳しく、春の訪れを待ち遠しく感じておりましたところ、ようやく日ざしに春らしい暖かさが感じられるようになりました。後援会の皆様、お変わりなくお過ごしのことと思います。

さて、令和の新元号と共に西郷支援学校も本後援会を支援する多くの方々のお力添えで、充実した教育活動を新たに積み重ねております。ご理解とご協力に感謝申し上げます。今年度、高等部の生徒達は、助成を行ったポッチャの競技セットを使用して練習に励み、他の競技も含め、特別支援学校スポーツ大会において、たくさんの賞状とメダルを獲得できました。また、小学部と中学部の児童生徒の絵画が地域の各コンクールで入選したり、西郷村文化センターに高等部の生徒の美術作品、作業製品の展示コーナーを開設したりと、やしお祭のテーマにあった「輪になろう～笑顔の花を咲かせて～」のように、子ども達の学びの輪が校内だけでなく、地域に広がってきております。これからも温かく学習できる環境を築き、子どもたちを守っていくことができますように、後援会関係者の皆様には、重ねてご協力をよろしくお願いいたします。



## 「ふくしまアビリンピック2019」の参加して

校長 曾川孝規



日頃より、本校の教育活動に御理解と御支援いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和元年11月19日、福島市にあるポリテクセンターにて、第18回福島県障がい者技能競技大会が行われました。本校からは、4名の高等部生徒が参加、喫茶サービス競技で金賞、ビルクリーニング競技、縫製競技で銀賞一つずつと、三つの賞を得ることができました。このアビリンピックは、一般成人の方も参加するので、高等部生徒にとっては毎年ハイレベルな大会になっています。中でも喫茶サービス競技はたくさんの参加者がいた中での受賞で、結果発表で名前が呼ばれたときは全員で喜びました。また、参加した生徒は授業の一部や放課後残って練習を重ね、大会に臨みました。縫製競技は午前午後の4時間の競技であり、競技を終わった後「頑張ったね」と言葉を掛けると、本人から「私、放課後まで残ってやりました。メッチャ、頑張りました。」と、力を込めた返事が返ってきました。今、特別支援学校の児童生徒も様々な大会に参加し、自分の実力を試しています。本大会で得た経験や自信が今後の生活や自立、そして未来につながっていくことを信じています。

